19日本国特許庁

公開特許公報

¹⁰ 特許出願公開 昭53—126649

(1) Int. Cl.² B 62 M 25/04 識別記号

❷日本分類 庁 81 D 291.1

庁内整理番号 6774—36 **9公開 昭和53年(1978)11月6日**

発明の数 I 審査請求 未請求

(全 5 頁)

9 自転車用二段変速切換装置

(1)

E 552-40454

多田

夏 昭52(1977) 4月11日

②発明 考 小栄団組

上尾市柏座 1-10-3

の出 順 人 ブリチ

プリチストンサイクル株式会社 東京都中央区日本橋 3 丁目 5 普

14号

四代 理 人 弁理士 杉村競秀

外1名

判 、書

/ 毎期の必称 | 言釈草居二野古祖引発事情 4.毎許辞求の範囲

1.発剤の酵粉を整明

本無明は食販車の三段で並引 英芸製的組 手る もので、毎にハンドルの舞り様付許の取付けて用 いられる無俗単作ついて改良したものである。

とのようにしてハンドルカら手を向すたいで乗 - 中に、中華国美術展ができるようにすることが第二位 主義優美の試るととにより原身部ガフチハンドル 職明の日野である。

以下助面につき本要明実施の一併資料を影明す る。城中人は自転車のヘンドル、まはその声り祭。 まは二段者を表色(数示せず)に発表した効果等 我ワイモ無めア立メータイヤー、チはそのインナ - ワイヤー、子はその多端に包含した正め其であ

本曲句に多いては、多く図に製器に示けように、 伊球 6 の世径ひとりら思さらが小さい複数を満好 ことして、ある恩に弁戒だ示さるとハンドル!に | 声し神る原境系有?を形成し、この適宜部材? に観孔さど教制解除くを出入自在に仮合する孔り **まがけ、立ち的商業に突出するストッパールを復** 斧子る。ハはカメールを餌息するためのねじ孔で、 はれそのねじである。又はは爾安平村クチヘンド ルノに四句するための甲向の其で、この今其月の

企业的下海积化的计元元化と中央外の下海积化的计 た孔月に丸じは毛巻表してナット(関系セナ)に 人を展布するようにする。

、又一方の以外をとせる収集の可動脈が次には前 記跡孔よと対応する位置にカラーカを挿入する軸 孔びを取け、可部には関記ストッパールと保介す る夾件収を形成し、参部には押器以を設け、架片 **車6か一部後入する孔井を設け、上面部に有限す**。

又似方のレベーとたる症状の可能部をおれたは乾 孔は七郎け、前部には前部ストフバールと集合す! け、平片さがストッパールと母合しだ時、前記孔 7内の奴隶(水一無畏入する孔立をわける。

そして可動布材みの景しばねおをばれを用りン が M: の 名 星 商 に 折 合 し 、 カ ラ ー か そ 可 作 形 材 4 の

:朝孔双巴张合己、厨内解剖了四孔夕时如珠五千条 入し、カラーかを可動部がかの明孔がに歩合した 夢、はね受用リングが、カラーン、難孔と、カラ - コチ酸サポルトおにより甘油し、その突出祭に 四点おか介してナット刃を断めつける。

このようにすれば2つの可多形材々、4が国宅 部材クを挟むように遊燈部材プの高調にそれぞれ ポルトガを中心として関助自在に発帯される。

そしてインナーマイナー・の時間をワイナー欠 おに要義し、何方及しばねりの一角を可多限有益 に併止すると共に、無難を固定所有7.に保止して 可到新村林を付着する。

カスーははねじけれよって原定部状で、民国以下、「引き込むれた状態の概要機能状態だある」。 シン る。とのように創立てた本語書は無人級多上の無 2.前に示すように乗り終えの近くのハンドルが大。 赤する外に無共によって可動器な水の神器以を失っ カピルによって国意する。

・・・ つまに上述の加く 有田した本角州委集の作用を表し、下げる。このようにすれば可動祭材がはポルトガッ 明する。無!」さっき、よ初社一方のレバーであっ. る可要数対スの無無単金無心下げ、熱力のレベニー。 する かかにかねごとの作品では発表もの一部が孔。

千条子。との場合可動性は20元以には第3、4 関化ホナとうに展示する種類的材でから多出する 水分が最大しており、 海洋 4 の依然は可断部状パ の伊那によって無限人が引つ込むないように支承 されているため、可敷部有がは悪しばおりに抗し て日来の位置で任存されている。

この時可能を特別は三級宗教を下記せるだか。 - (阿尼女式)はもなくとなってイスングを介した **本・色の矢印入の方向に引かれているためストア** スペールによって併止する位置もで呼吸している。。 さなわららの発展は三泉原田豊の物作でイナニ のインストなくちゃん祝んできゅうそうけんのや

この状態から楽器しょうとするになる無法関係 - 印Bのように対して、無を浴に示す位置まで押し を中心に原動することとなり引きが発表をと対向 お内に終入でき、しかも作用の可断が対心は常に、 、長し代丸辺の作用だよつて多《頭の矢印Cの方向 _{1、2} に前数するように付勢されているため、無井くも 新する。この甲母珠(の信仰は可勢だ材料の質問 だとつて文水されているためで可動部分がは孔上

ナたわちこの状理はインナーワイヤーをを引き 出した数据技作状態である。土た井仏変量をする。 には可多部分もの非悪刃を押し下げれば、孔立が。 模学《と表合し、可能感対けを形放するため、可 図、男は遊はその一部を新聞で保守平衡的、無は 郵酬材料は安装装置のばねむよつで買り 。4 。4 。 3 数の包型に戻り、可介数分おは押し下げ危機に

である可料部分のいずれか一方を押するとにようことの英国を報告で来す平衡器である。 七度方の可能部分が自動而には加上がり、二段表 / …海奈本の大人かん、1 …男り面。 男の引発機作をお易かつ病室と行うととができる。 リー明美を住立ですーのファリーフィャー、

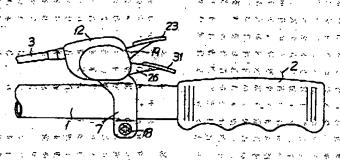
20、 シバーである可数無材の の動きのみだよつて容易に指作すると

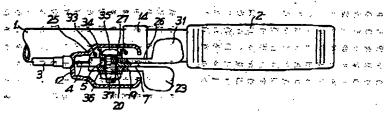
中・レスーの特性は押し操作のチであるからをわ 多文教作上与い。

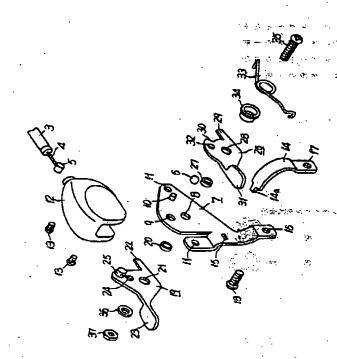
・ 物・支蓋列更条件は食切れ返よく、かつ過ぎてあ

金子四位本会明芸僧の取付け故語を示す立治。 後の作動説明用の立面図、無り斑はその姿态を新 上途の如く本美明芸術によれば、28のレベート、原は本芸術教授の作動技術用の立画図、終了配社の

ត្រីសុខសុសសភា ខេត្ត







第3四

